



滝根小白井風力発電事業および檜山高原牧場風力発電事業はすでに工事が始まりました

大津辺・黒佛木ウィンドファーム計画より先に、田村市が誘致した「滝根小白井風力発電事業」（田村市滝根町大字神保 金山牧場 いわき市川前町小白井 阿武隈高原牧場に2000kwを23基 株式会社ユーラスエナジー滝根小白井）と「檜山高原牧場における風力発電事業」（福島県田村市常葉町堀田大平檜山高原牧場跡地 2000kwを14基 株式会社グリーンパワー常葉）は、すでに工事が始まって

しました。

滝根小白井の建設地は川内村に隣接しており、四区の千翁川沿いからいわき境界にいたる民家はすべて風下の5km圏内（最も近い民家は館屋あたりで3kmほどか）に入ります。

ちなみに平伏沼は2kmも離れていません。建設地から2km離れていないところにいわき市の小白井小中学校がありますが、この学校の生徒たちは、巨大風車群が稼働を始めると、おそらく全国で初めて、巨大風車群の至近距離にある学校として、低周波健康被害の実験データとなることでしょう。

檜山高原牧場跡地も、近くにある民家の大半は川内村（一区）です。1kmも離れていないところにも人家はあり、稼働すれば低周波被害はさげられないでしょう。



↑滝根小白井風力発電事業の建設現場（09年4月4日撮影）。阿武隈高原牧場跡地と金山牧場跡地に2000kw風車を23基建てる計画です。